

# 2025年3月期 第1四半期決算説明資料

The logo for NIRECO, consisting of the word "NIRECO" in a bold, red, sans-serif font. The letters are closely spaced and have a modern, blocky appearance.

(証券コード：6863)  
2024年8月9日

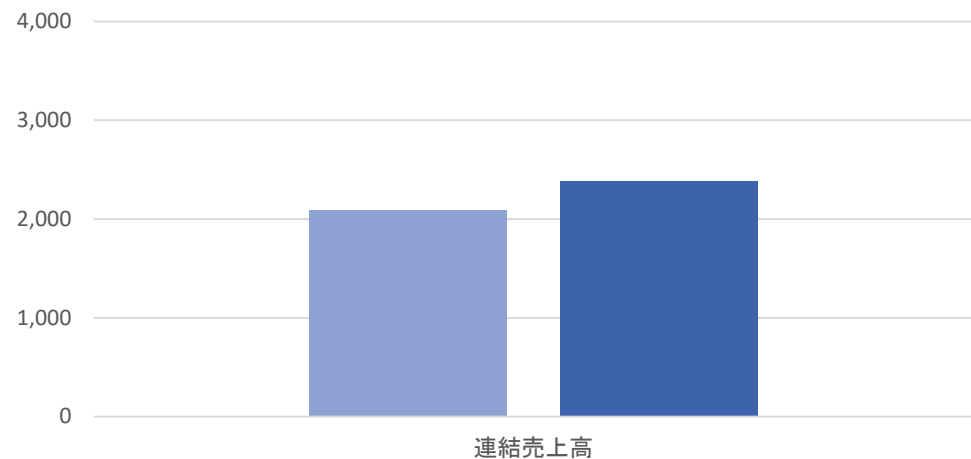
本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

## 2025年3月期 第1四半期業績

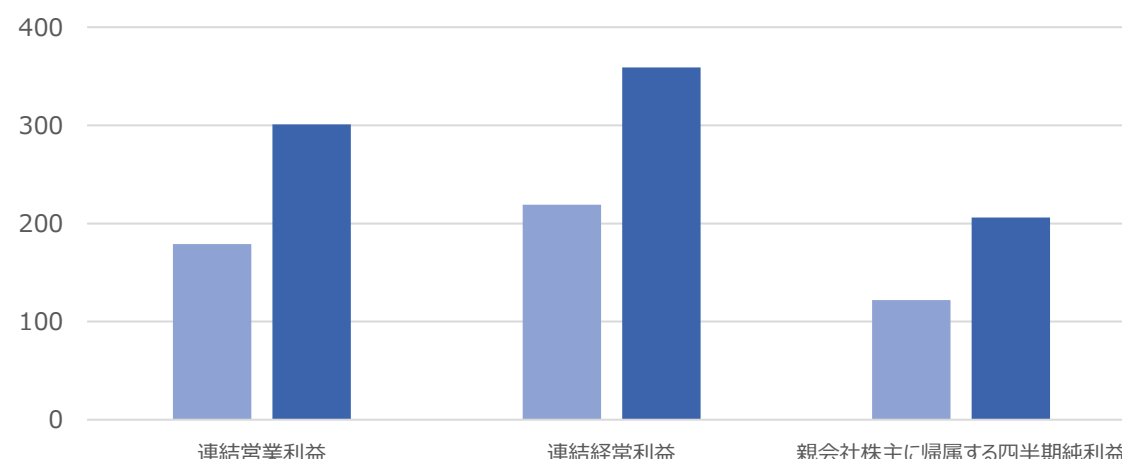
(百万円)

	2024年3月期 第1四半期累計期間	2025年3月期 第1四半期累計期間	対前年増減率
連結売上高	2,088	2,389	14.4%
連結営業利益	179	301	68.4%
連結経常利益	219	359	63.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	122	206	68.4%

(百万円)



(百万円)



■ 2024年3月期第1四半期累計期間 ■ 2025年3月期第1四半期累計期間

■ 2024年3月期第1四半期累計期間 ■ 2025年3月期第1四半期累計期間

# 2025年3月期 業績予想上方修正

2025年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正  
（2024年4月1日～2024年9月30日）

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正  
（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,700	420	470	320	43.38
今回発表予想(B)	5,000	620	680	470	63.59
増減額(B - A)	300	200	210	150	-
増減率(%)	6.4	47.6	44.7	46.9	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第 2四半期)	4,531	536	589	370	50.43

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	1,200	1,270	870	117.94
今回発表予想(B)	10,000	1,280	1,350	935	126.32
増減額(B - A)	-	80	80	65	-
増減率(%)	-	6.7	6.3	7.5	-
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	9,861	1,386	1,470	1,011	137.36

## 2025年3月期 業績予想上方修正要因

- 制御機器事業において、鉄鋼・非鉄金属業界向け分野で収益性の高い製品の販売好調。ウェブ分野向けでも、利益率の低い分野への販売が落ち着くと共に、利益改善努力が奏功
- オプティクス事業では、半導体製造装置市場の回復に伴い光学部品分野を中心に売上・利益ともに増加。レーザー装置も今期から収益に寄与
- 現時点の注残の状況などから、第2四半期以降も堅調な業績推移を想定

## 2025年3月期 配当予想修正

第1四半期の実績を受け、通期業績予想修正を行うと共に配当予想を修正

## 1株あたり配当金

第2四半期末

期 末

合 計

前回予想  
(2024年5月14日公表)

24円00銭

30円00銭

54円00銭

今回修正予想  
(2024年8月9日公表)

24円00銭

33円00銭

57円00銭

前期実績  
(2024年3月期)

20円00銭

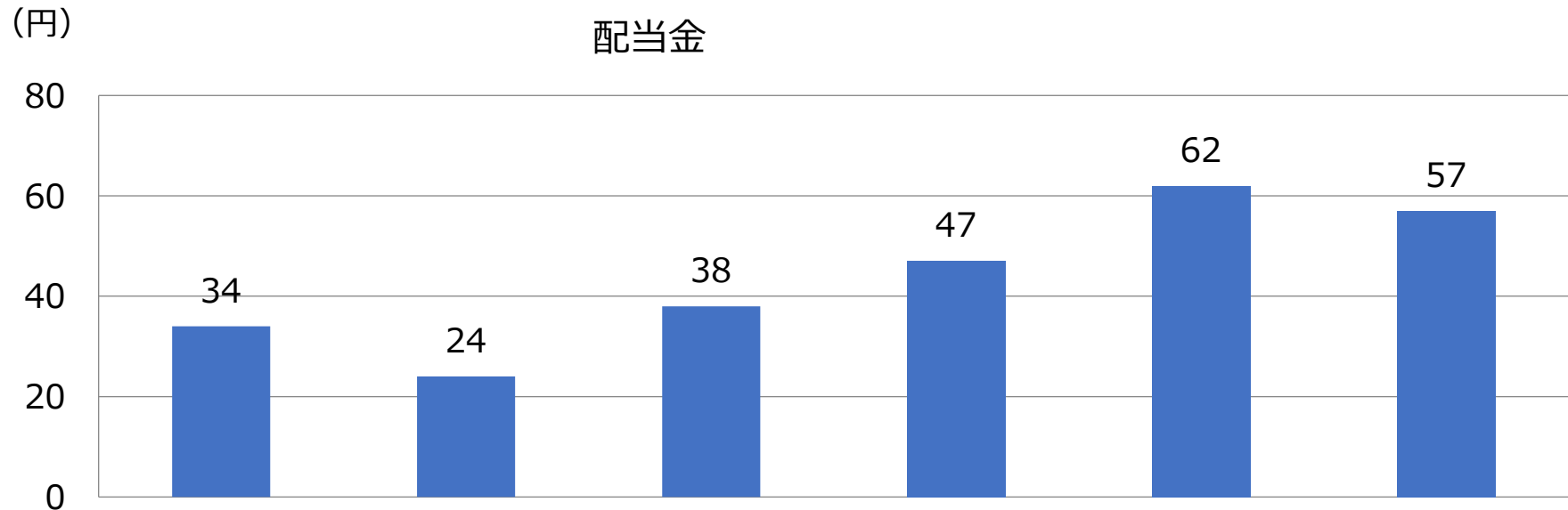
42円00銭

62円00銭

## 株主還元について

＜基本方針＞ 連結配当性向 45%以上かつ連結自己資本配当率 (DOE) 2.5%以上を目標

配当予想修正を受け、2025年3月期は株式公開後2番目となる配当金額を予定



	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期(予)
1株当たり当期純利益(円)	106.58	59.06	55.41	117.40	137.36	126.32
中間配当金(円)	14	24	14	18	20	24
配当金(円)	34	24	38	47	62	57
配当性向(%)	31.9	40.6	68.6	40.0	45.1	45.0
DOE	2.0%	1.3%	2.0%	2.4%	3.0%	2.7%

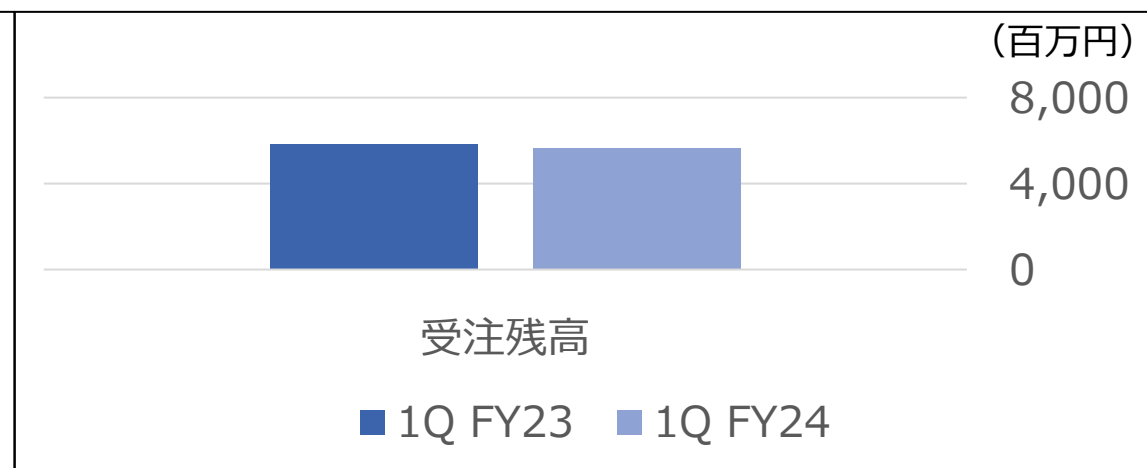
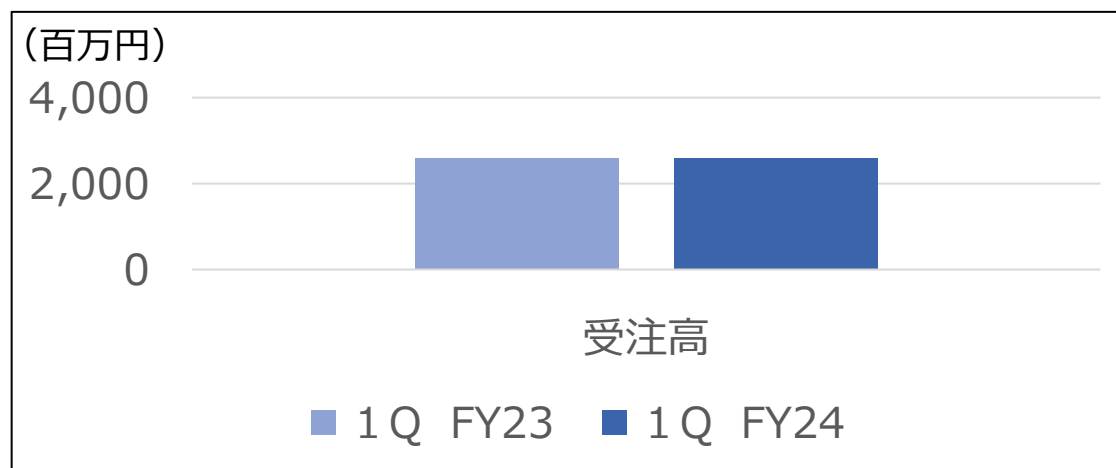
## 貸借対照表

(単位：百万円)

	24/3期末		25/3期 第1四半期末		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
現金・預金	4,354	23.4%	4,207	23.1%	▲ 147
売上債権	4,176	22.5%	3,975	21.9%	▲ 201
棚卸資産	3,544	19.1%	3,775	20.8%	+ 231
その他流動資産	272	1.5%	237	1.3%	▲ 35
流動資産	12,347	66.5%	12,195	67.1%	▲ 152
有形固定資産	3,627	19.5%	3,635	20.0%	+ 8
無形固定資産	176	0.9%	155	0.8%	▲ 21
投資その他資産	2,422	13.0%	2,196	12.1%	▲ 226
固定資産	6,226	33.5%	5,987	32.9%	▲ 239
<b>資産合計</b>	<b>18,573</b>	<b>100.0%</b>	<b>18,183</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲ 390</b>
買入債務	576	3.1%	479	2.6%	▲ 97
その他流動負債	1,422	7.7%	1,420	7.8%	▲ 2
流動負債	1,998	10.8%	1,899	10.4%	▲ 99
固定負債	749	4.0%	663	3.6%	▲ 86
負債合計	2,748	14.8%	2,563	14.1%	▲ 185
純資産合計	15,825	85.2%	15,619	85.9%	▲ 206
<b>負債・純資産合計</b>	<b>18,573</b>	<b>100.0%</b>	<b>18,183</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲ 390</b>

## 2025年3月期第1四半期 受注高・受注残高

	2024年3月期 第1四半期累計期間	2025年3月期 第1四半期累計期間	対前年増減率	2024年3月期 (参考)
連結受注高 (百万円)	2,586	2,592	+0.2%	9,970
連結受注残高 (百万円)	5,843	5,657	▲3.2%	5,454





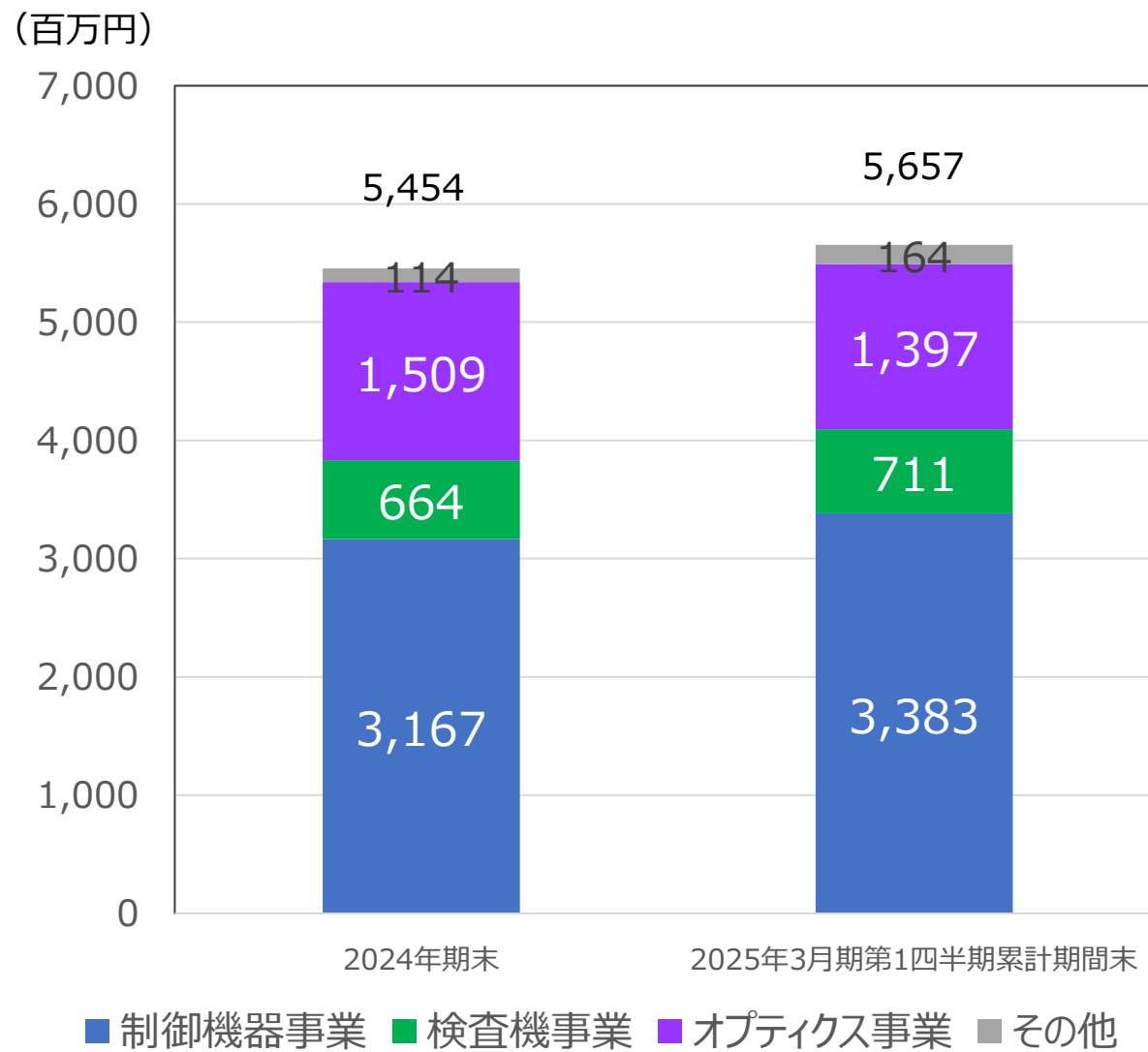
## 2025年3月期第1四半期 セグメント別業績

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期累計期間 売上高	2024年3月期 第1四半期累計期間 セグメント利益	2025年3月期 第1四半期累計期間 売上高	2025年3月期 第1四半期累計期間 セグメント利益
制御機器事業	1,237	182	1,195	251
検査機事業	211	▲49	372	▲41
オプティクス事業	492	190	717	266
その他	147	19	104	▲8
調整額	-	▲162	-	▲165
合計	2,088	179	2,389	301

## 2025年3月期第1四半期 受注残高

	(百万円)	
	2024年 期末	2025年3月期 第1四半期 累計期間末
制御機器事業	3,167	3,383
検査機事業	664	711
オプティクス事業	1,509	1,397
その他	114	164
注残計	5,454	5,657



## 2025年3月期セグメント別見込

(百万円)

	2025年3月期 5月時点 通期売上高見込	2025年3月期 5月時点 セグメント利益見込	2025年3月期 8月時点 通期売上高見込	2025年3月期 8月時点 セグメント利益見込
制御機器事業	5,500	720	5,300	820
検査機事業	1,750	230	1,700	90
オプティクス事業	2,250	780	2,450	900
その他	500	70	550	70
調整額	-	▲600	-	▲600
合計	10,000	1,200	10,000	1,280

**NIRECO**

# 参考資料

## 会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	中杉 真一
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所スタンダード
資本金	3,084百万円*
連結従業員数	450名*
連結売上高	9,861百万円*

\* 2024年3月期連結

## 沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動制御機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所に上場
- 2013年 : 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）上場に移行
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備
- 2019年 : 株式会社光学技研を子会社化
- 2021年 : 西武電機株式会社を子会社化
- 2022年 : 東京証券取引所の市場再編に伴い、スタンダード市場へ移行
- 2023年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が社名をNireco Korea Corporationへ変更
- 2024年 : ミヨタ精密株式会社を吸収合併

## 経営理念

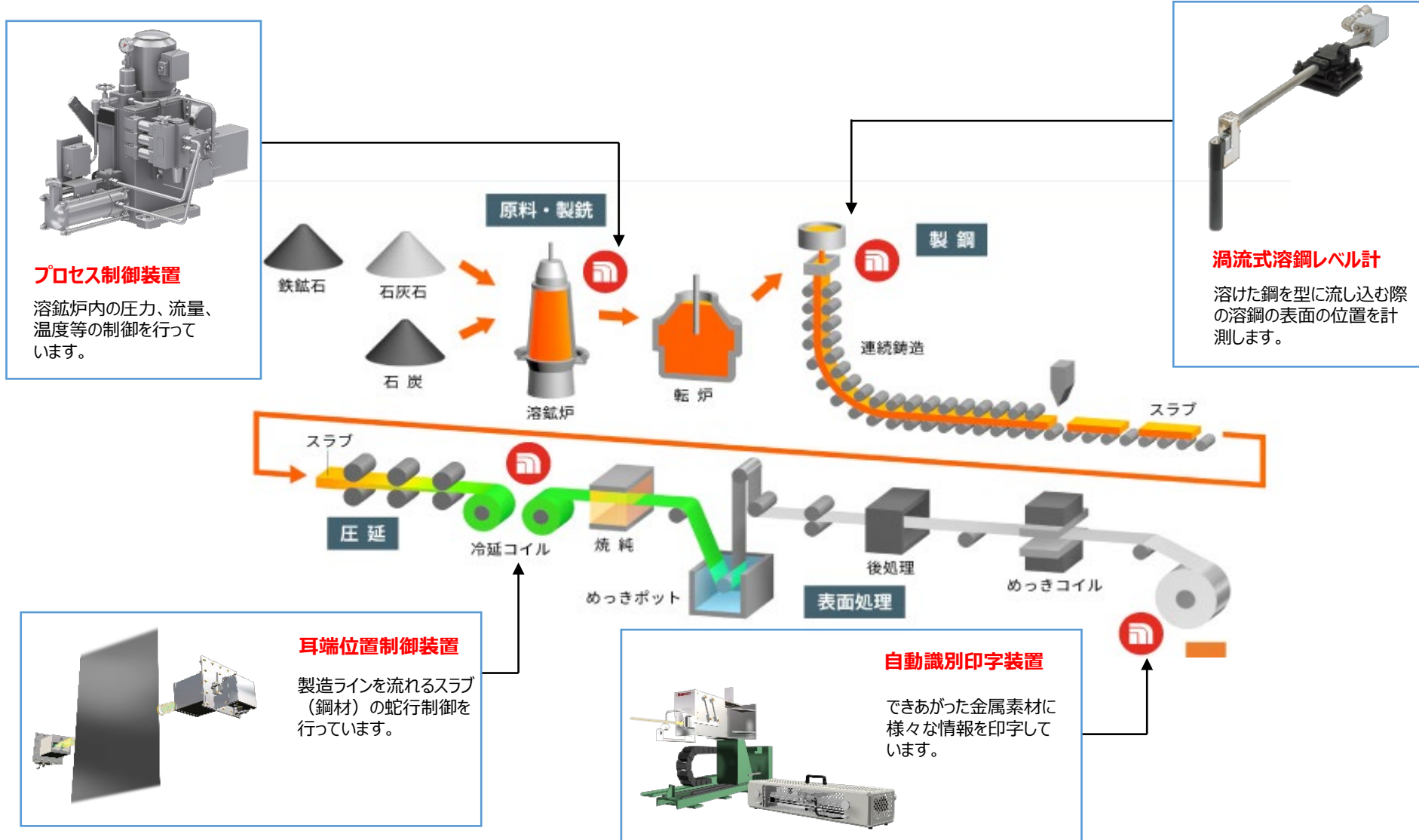
## 「技術と信頼」

われわれは、制御、計測、検査の技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。さらに、パートナーシップにより生み出した価値を広く社会に応用することで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献していきます。



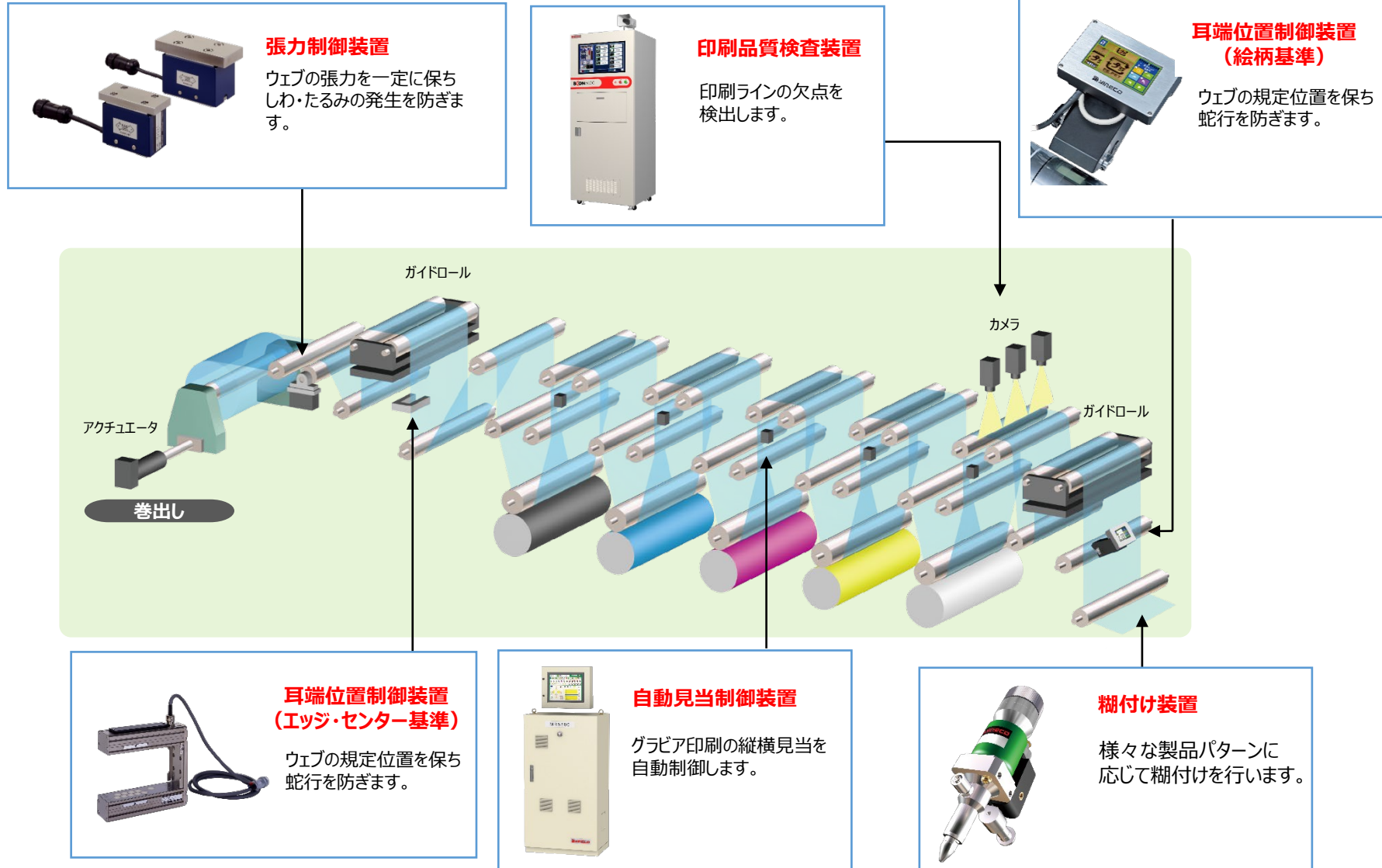
## 制御機器事業：鉄鋼・非鉄金属分野

鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業等あらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



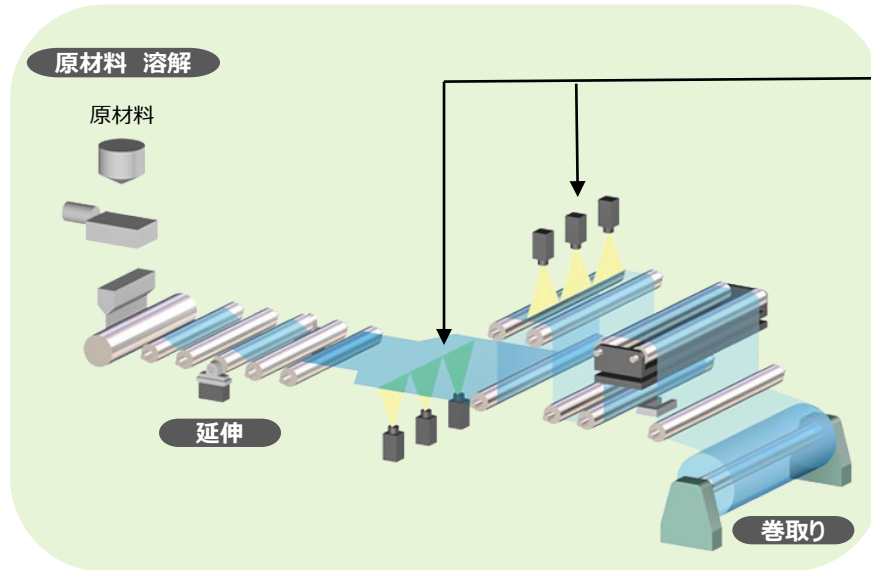
## 制御機器事業：ウェブ分野

主に紙・フィルム・箔等薄いシート状素材（＝ウェブ）の位置制御装置等を扱う事業です。



## 検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



**無地検査装置**  
あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）等を検査します。

**選果装置**  
農産物の品質を外観（キズ、腐敗、サイズ等）、あるいは内部品質（糖度、酸度）から瞬時に非破壊で判別します。



## オプティクス事業

長年に渡り培ってきたレーザ関連製品やグループ会社の株式会社光学技研が取り扱う高度な技術を必要とする特殊な光学部品を扱う事業です。

➤ 主要用途：

- 半導体検査装置
- 光学機器
- 医療機器

### 光学部品



#### 非線形光学結晶

深紫外光への波長変換に適したCLBO素子を提供し、先端半導体検査装置等で用いられています。独自の加工技術で、世界の複数の半導体検査装置メーカーから高い評価を受けています。

#### 偏光子

特定の光を取り出すことのできる偏光子を、学術研究分野、光学機器分野、レーザ用途等、幅広く提供しています。



### レーザ関連製品



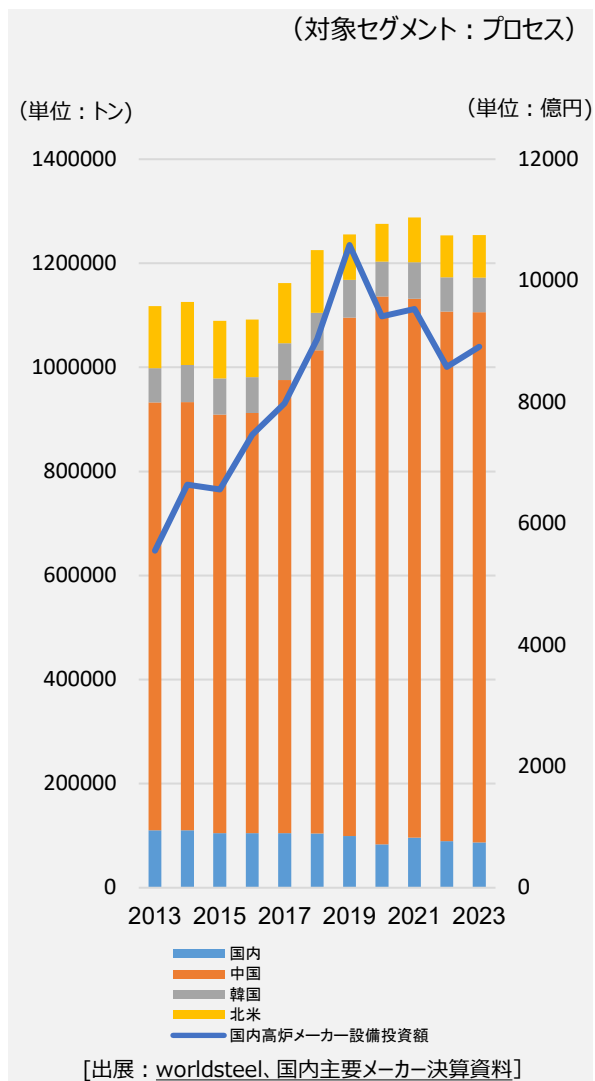
**深紫外ファイバーレーザ Cygnus**  
深紫外ファイバーレーザを用いたマスク検査を実現します。定期的なメンテナンスは年1回と安定的な性能を有しています。



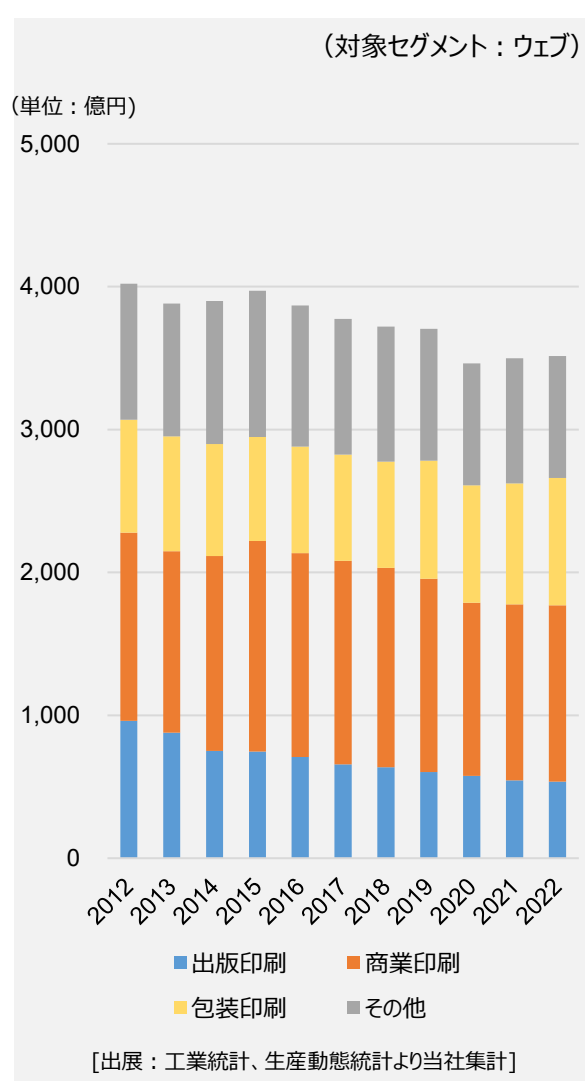
**レーザ装置 HR-G10**  
高出力グリーンレーザを用い、シリコンウエハへの加工、金属へのマーキング、樹脂内のマーキング、薄膜加工等、多用途に用いることが可能です。

## 各事業市場動向

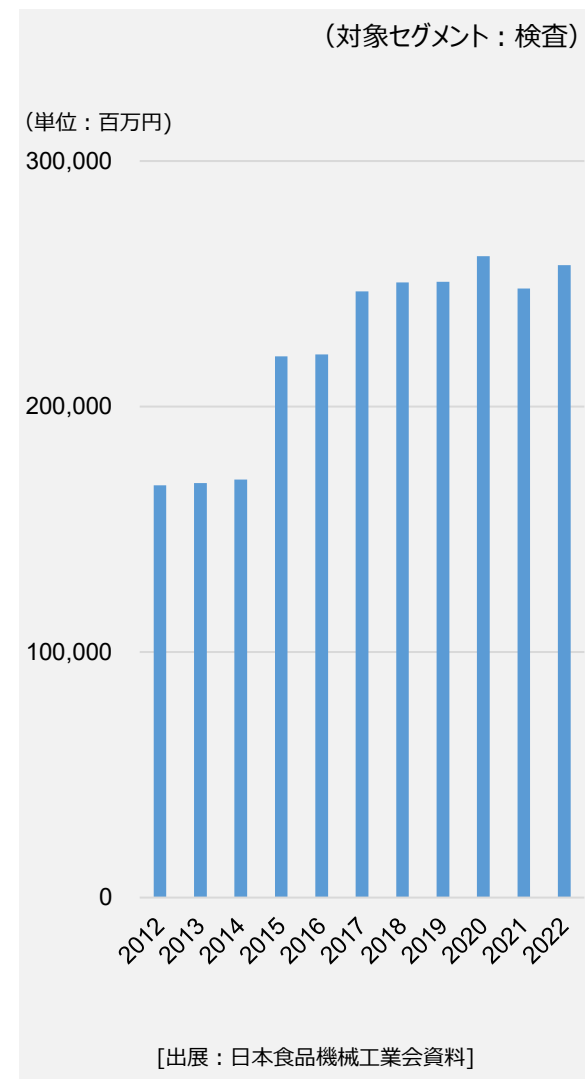
### 地域別粗鋼生産量及び 国内高炉大手設備投資額の推移



### 印刷市場規模の推移

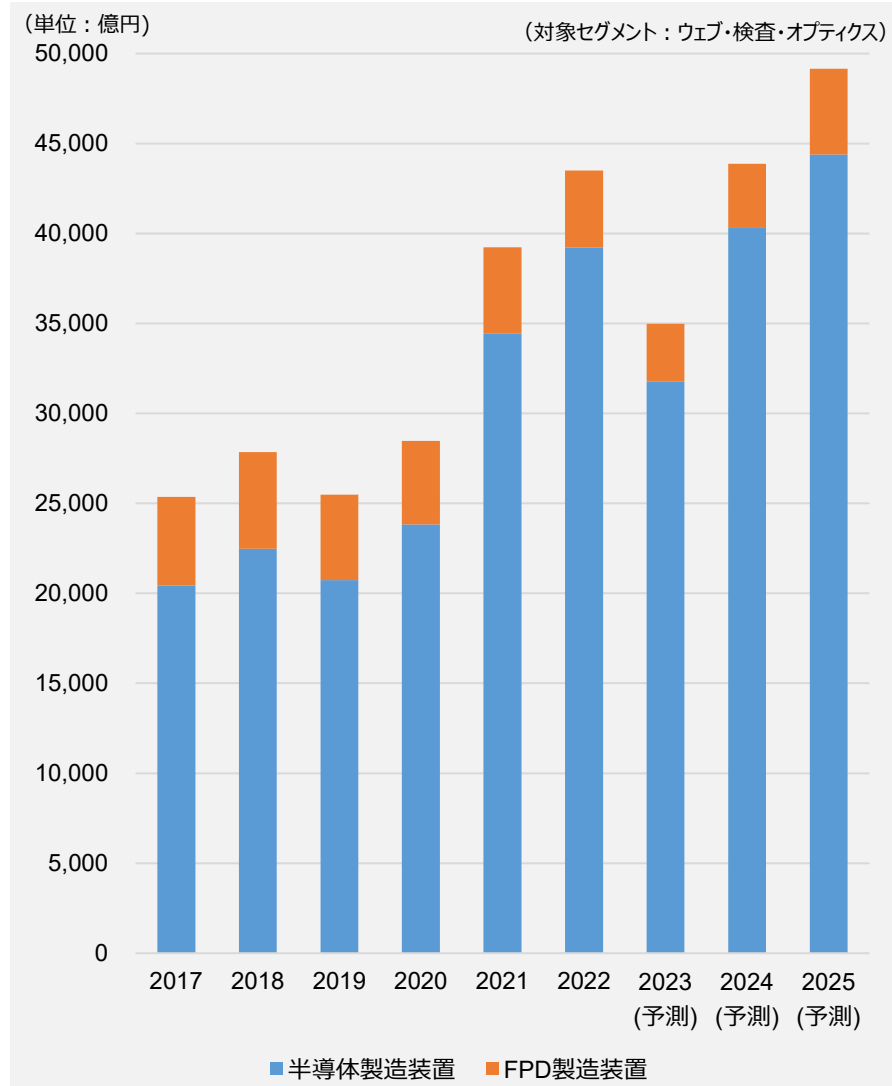


### 食品機械国内販売額の推移 (除、加工機械)



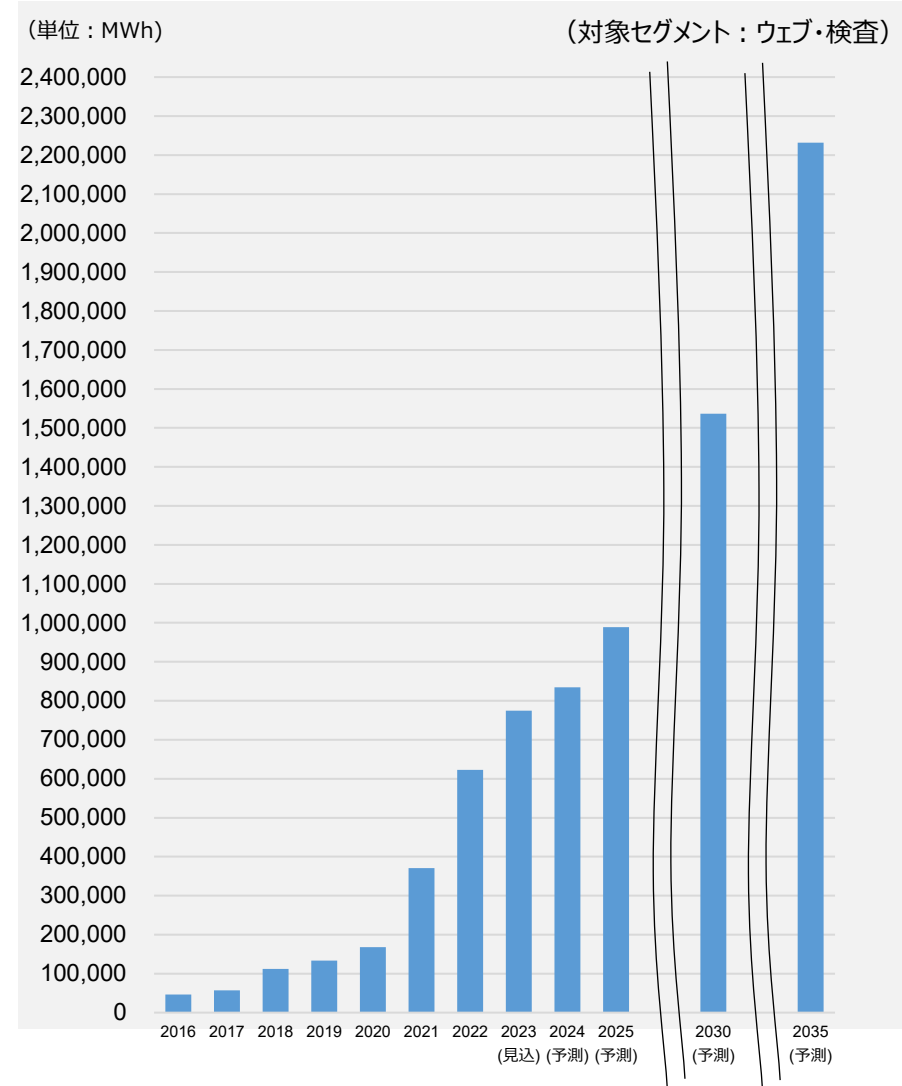
## 各事業市場動向

### 半導体・FPD製造装置需要予測



[出展：日本半導体製造装置協会]

### 車載用Lib世界市場予測



[出展：矢野経済研究所資料]

**NIRECO**